

令和4年度第9回岩村地域自治区運営協議会
役員会議事録

日時：令和5年2月24日（金）19時30分

場所：岩村コミュニティセンター2階大会議室

出席：地域自治区役員

オブザーバー：服部市議

事務局：2名

1) はじめに

2) 会長あいさつ

3) 議事

- ・旧岩村振興事務所利活用について 議題1
- ・岩村地域自治区運営協議会会長選考について 議題2
- ・いわむらランドデザイン改訂について 議題3

4) 報告事項

- ・恵南中学校統合について
- ・旧給食センター及び旧教員住宅の活用について 資料1
- ・令和5年度 まちづくり懇談会の開催について 資料2
- ・恵那市消防団新入団員確保についてのお願いについて 資料3
- ・恵那市の出生数等の状況について 資料4

5) その他

会長挨拶

本日はお疲れ様でございます。

ロシアの侵攻によるウクライナ戦争が始まり一年となりました。

地域自治区運営協議会は3月で任期が切れることになりました。

今日、旧振興事務所の利活用についての議題は時間をかけて協議したいと思います。

今日も教育委員会生涯学習課の伊藤さんと課長さんに来ていただいております。

この後説明を受けて、今まで協議してきたことを総括として承認を得て、次の段階へ進みたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

事務局

会議資料の確認

議題 1 旧岩村振興事務所利活用について

事務局

議題 1 に入ります。生涯学習課より説明いただきます。

生涯学習課担当

皆さんこんばんは。本日もよろしく願いします。最初に建物の配置案について説明させていただきます。

旧振興事務所の平面図になりますが、前回の役員会の場合から1ヶ月経過しておりますので、少し振り返りをして頂きますと、前回は地域運営協議会から頂いた提言をひとつひとつ、市の見解だったり地域からいただいたご意見に対して説明をさせていただきました。そして施設の機能として、配置すると良いと思われる機能を説明しました。

機能のおさらいをさせていただきます。メインに佐藤一斎記念館を核とし、附随して各地域の先人紹介、企画展示、多目的スペース、観光案内の機能、郷土、先人に特化した図書やライブラリーの機能とし、資料室、歴史資料収蔵庫機能を説明し、皆様からこの機能案で行こうとご了解いただいた。

その中の意見で、機能を当てはめた配置案を作成してもらいたいと宿題を頂きましたので、会長や振興事務所と相談し案としてまとめましたので、これから説明させていただきます。資料又はスクリーンをご覧ください。

一階です。正面玄関左側部分（西側）を先人記念館部とし、町長室や助役としては事務所機能を配置します。

正面玄関入ってすぐの場所は総合案内とし、受付やグッズ販売機能を設けたらと考えます。

その隣は郷土や先人に関わる図書とし、閲覧貸出ができるスペースを考えます。

その隣は歴史資料の企画展示を行ったり、企画展示を行っていない時は休憩スペース、

また多目的に活用できるスペースと考えます。

その隣には街に繋がる形で観光案内の機能を設けたらと考えます。

その他、裏側にあるトイレも改修して利便性を上げる必要があると考えます。

書庫はバックヤードとして資料保管収納スペースとして活用ができると考えます。

以上一階は全面的に改修し市民や観光客に開放するスペースといった考え方で改修を行っていきたいと考えます。

2階です。一般の方が出入りしないエリアと考えます。機能のひとつである市史資料室や、市全体の資料を保管し活用していくスペースを考えます。部屋は必要最低限の改修に止めたいと考えます。

庁舎全体が大きいので、全てを使い切るというものではなく必要最低限のスペース利用と考えます。

地下です。食堂や書庫があるので、記念館の作業を行うスペース、書物を保管するスペースとし、現在のまま活用すればと考えます。2階同様一般の方が出入りをしないエリアと考えます。以上機能案について説明させていただきました。

皆様からのご意見を頂きたいと思います。

会長

ありがとうございました。基本的には改修は一階二階。地下は多少手を入れないといけないところもありますが、原則既存のまま使用ということです。

一階の細かい展示は今後詰めますが、基本的には、このような配置案という事です。ほぼ一階のみを使う案でございます。一齋塾としてどうでしょうか？

SR委員

ここまでありがとうございます。

会長

観光協会としてはどうでしょうか？

W委員

観光協会としては難しいです。人件費の問題やスペースが広すぎて利用し切れない。閑散としてしまい上手く利用出来るか疑問。

恵那市からの具体的な援助はあるのか？ないのか？そこも不明なので、今の段階ではやりますとは言い難いです。

会長

分かりました。その辺りのことを踏まえて、今後の課題とします。また。観光協会に相

談させていただきます。

観光協会

回答に期限はありますか？

会長

特に考えていません。流れの中で考えていきますのでよろしくお願いします。
生涯学習課から何かありませんか。

生涯学習課担当

観光案内の場についての必要性についてどう考えますか？

観光協会

必要とは考えます。

生涯学習課担当

今後、整備にわたり記念館から町へどういう風に誘導するのか、相談させていただきますので、よろしくお願いします。

観光協会

了解。

会長

それでは配置図案は終わります。

生涯学習課担当

2月13日市の業務としまして、記念館デザイン作成のため、プロポーザル形式の審査を行ないました。審査には地元から、地域自治区会長、一斎塾塾長、振興事務所長にも参加いただきました。

本日は業者が決定したので、その報告と合わせて提案内容についてデータにより説明させていただきます。データ（プロジェクタースクリーン）により、イメージを共有させていただきますと思います。

設計施工業者として、株式会社乃村工藝社本社は東京。提案は名古屋支店からの提案で決定しました。

提案は四社から受けております。あらかじめコンセプトや施設の広さを示し、利活用検討委員会でまとめた内容を事前に伝え提案をいただきました。

コンセプトとして、一斎先生には多くの門下生があり、大変な影響を与えていますので、日本を動かした重要人物という位置づけで知っていただく。合わせて言志四録の教えが重要となってきますので、この教え及び先生の残した言葉を通じて、来館者の気持ちに入っていくような伝え方ができればと思います。

地域に貢献する施設という考え方もあります。この施設によって、全国から人が集まるようになれば、岩村の町も活性化し、いずれは恵那市全体の活性化にも繋がり貢献できるということです。

具体的には岩村城址とか岩村城下町と連携した滞在型観光ということで、少しでも滞在時間を延ばすことにも貢献できるのではないかと考えます。

目的というか全国へ波及して行くことで、個人の共感を大事にして行きます。社会見学、企業研修の場として人物観光に寄与出来る場にもなると思います。また、嚶鳴協議会参加自治体および団体を始め、一斎先生の弟子の出身地、弟子の記念館が各地にあるので、連携も強化できるのではないかと考えます。

施設の方向性としては、「佐藤一斎と出会える。対話する施設」一斎先生と対話し、現代に生きる教えを体感するような方向性を持った施設にしたらどうかと提案いただきました。

これらが配置図になります。予め想定されるスペースとして庁舎を入れて左側部分この部分を活用するのであれば、どのような配置になるのか？デザインになりますか？というお題をプロポーザルの資料として出しているのですが、それに基づいたデザインとなっています。

右側部分については何も示しておりません。乃村工藝社からスクリーンの図のとおり提案がされました。この図は決定ではありません。今後、地域の皆様からご意見をいただき形にしていくこととなります。あくまでもこれが基本にはなります。

全体誘導を整理します。

エントランスから入ると映像のシアターの部分があります。プロジェクションマッピングを使い一斎先生の人となり、多くの人々に与えた影響について、映像を通して学んでいただくスペースとなります。

プロジェクションマッピングは8分程度の演出を想定しています。

次に小路のような誘導があり、一斎先生の生き様、言志四録からの言葉の数々が展示されます。実物の展示として、言志四録の紐綴じ本や掛け軸など本物に触れられるスペースを設けております。

居心地の良い施設というコンセプトもありますので、ソファを置いてゆっくり眺めてもらうスペースも設けます。

AI相談コーナーは困りごとを問かけると、その人に合った言葉が出てくると仕様になります。

丸くなったスペースは、親と子でくつろげる、そして学べるスペースとしております。ライブラリーとしてモニターや絵本などを置くことが想定されています。

廊下の部分を活用して恵那市の先人 30 人を紹介することとしております。

今回プロポーザルで選ばれた乃村工藝社は、過去にパナソニックミュージアム松下幸之助歴史館を手掛けております。そのほかいろいろな施設を手掛けており、詳細については資料をご覧ください。

今後の予定として、3 月末までに今回の提案について、地域から要望、意見をいただき記念館デザインを修正して行きます。そして解説付きの資料として仕上げてもらいます。イメージ画も 5 点ほど作成してもらいます。

なかなか言葉で伝えることが難しいので、デザインを見て理解を深めていただきたいと考えます。

イメージ画は今後ふるさと納税の呼び掛け PR にも利用もできます。色々な面で有効活用してまいります。

会長

乃村工藝社は東証一部の会社であり、業界では日本で一二を争うような大きな会社です。

このような会社がプロポーザルに参加するとは驚きでした。審査する際には、会社名を伏せて実施しましたので、結果を聞いて驚いたところです。

もう少し詳しいものが 3 月末に出来上がるようですので次年度になりますが、このような形になるというイメージを持っておいていただきたいと思います。

なお、今回のプロポーザルの設計費用は 200 万円でした。今後、これをもとに工事に入っていくということになります。

何か質問があればお願いいたします。無いようなので次の説明をお願いします。

生涯学習課担当

前回役員会で頂いた。運営費について試算しましたので説明します。資料をご覧ください。

A については施設全体の経費で、745 万円ほどになりますが、面積案分すると記念館部分は 184 万円ほどになります。B の一斎記念館部分の必要経費は 745 万円ですので、合計 929 万円程になります。

次に収入想定です。収入の手立てを一斎塾で考えていただきました。入館料は歴史資料館をベースに算定し、211 万円、ふるさと納税寄付金で 120 万円、ファンクラブ 160 万円、その他はグッズ・書籍販売 40 万円、講習の参加料等で合計 563 万円となります。

以前より地域主体の運営ということで、ふるさと納税で財源を確保するため、皆様には PR を行っていただき、少しでも収入を確保して行く。市としても関われる部分に対して指定管理等を検討してまいります。支出の方は少しでも節約して経費を抑えていくという形で、全部合わせながら今現在の試算としてこれに対して意見をいただければと思います。

会長

ありがとうございます。

一番大事な数値が出てきました。地元として運営をしながら、どれくらいお金が集まるか？試算にはふるさと納税の寄付金として200件とありますが、1000件まで努力することが大事だと思います。寄付金をもとに運営して行くという心づもりで全国に告知して行くことが大事です。今現在500万円不足しているので。私の考えとしては1000万円ぐらいふるさと納税で集めたい。佐藤一斎という人物の評価で、日本中に告知すれば集まると思っています。しかし、未知の部分もありますが、期待もしています。地元がお金を集める努力をしながらやって行きたいと思っています。

鈴木先生。佐藤一斎先生のネームネームバリューがあれば200件ということはないですよ。

SR委員

そうですね。会社もあるし、個人もあるので集まる可能性はあると思います。

生涯学習課担当

地域の皆さんが熱意を持って収入を集める。ふるさと納税をはじめ、地域全体で呼びかけて件数を増やしてもらおう。そういった後押しがあると市と地域が一緒になってやっていると説明ができるのでありがたいです。

会長

今後、ふるさと納税のチラシが大事になってきます。

事務局

チラシ案はお手元のとおりで。さとふるの返礼品が掲載され次第、第一弾として呼びかけを行っていきたいので、よろしくお願いします。また、施設の建設が決まりましたら。「一斎記念館建設を応援してください」と第二弾を打てればと思っています。

会長

チラシを見たが、返礼品の会社名を入れた方が良い。もらった人がわかりやすい。カステラも店の名前で決める人がいますので、一軒一軒にして欲しい。

学芸員は、例えば記念館に常駐するのであれば、いろんな仕事をしてもらって、協同でやれることになりますか？

生涯学習課担当

市史管理の仕事もあるが、記念館部分の学芸員としてのアドバイスや支援等かかわれる

のではないかと考えます。

会長

他に活用の件で意見はありませんか？無いようなのでこれで終わります。

議題2 岩村地域自治区運営協議会会長選考について

事務局

選考員会委員長が本日欠席のため、選考委員の宮澤さんよりご報告いただきます。

生涯学習課

1月18日に選考委員会を開きまして、選考委員全員一致で原田英明さんをお願いすることになりました。原田さんをお願いしたところ、快く引き受けていただきましたので、ご報告申し上げます。

会長

ただいま報告がありました。原田さんよろしくお願ひいたします。

H委員

一言ご挨拶申し上げます。委員として残るぐらいの話だと思ったが、会長ということで大変驚きました。自治連合会長として約一年経過したが、東京からこちらに戻ったのが2015年のことで、高校生から岩村を離れていたため岩村のことがよくわかりません。

2015年に防災士を取得し、自主防災隊に加入しましたが、まだまだです。

岩村地域自治区運営協議会には旧振興事務所の利活用など結構難しい課題がありますが、最善を尽くして行きたいと思っておりますので、ご協力の程よろしくお願ひします。

議題3 いわむらグランドデザイン改訂について選考委員会について

事務局

昨年度より、グランドデザインを見直すということで作業を進めてまいりました。令和2年に恵那市の観光ビジョンが変更され、それに基づいた計画に変更する必要があるということで、昨年度より策定委員を決め今年4回会議をおこない案が出来ましたので、皆様にご確認いただき、ご意見をいただければと思います。

主な変更点として、

P1 「1はじめに」につきまして計画策定から8年経過しており、岩村を取り巻く状況が変化しましたので、現状に合った内容に変更しました。

P1 「1（2）プランの位置付けと期間」には令和2年に策定された「恵那市観光ビジョン」に基づく岩村地域独自の観光まちづくり指針と位置付けとしました。

P2 「2 最近の観光客の状況」につきましては、朝の連続テレビ小説や全国山城サミット、WRC、新型コロナウイルスの記述も追加しています。

P7 の政策については恵那市観光ビジョンと同じ内容になっています。

P8 「6-2 施策と基本施策（主要事業）の体系」につきましては、主要事業の見直しを行っております。城主公園の整備、先人を PR し観光資源に、昭和をイメージした町並みの展開、岩村体験プログラム、先人学習、SNS を利用した PR、アルベルゴ・ディフーズ（分散型ホテル）の構築及び認証などを新たに追加しております。

P14 「7-1 重点プロジェクト」につきましては、恵那市の恵那市観光ビジョンに合わせた内容に変更しております。

主な変更点について説明させていただきました。

会長

今の説明で何か質問があったらお願いします。

G委員

空き家を宿泊施設にという説明であったが、非常に空き家が多いがすぐ簡単に宿泊施設に出来るのだろうか？法律など厳しいのではないか？

M委員

やり方だけで、空き家の持ち主が誰かということが問題である。

ぼっとな便所の改修など資金が必要となる。専門委員会を立ち上げ、金を引っ張ってくるシステムを作れば、ある程度色々なヒントが出てくると思う。

頭から出来ないというのではなく、可能性はあると思うので、それを空き家対策で考えるか？どこでやるかは今後考えていくことになる。

事務局

岡山县矢掛町では 2013 年を観光元年とし、町で力を入れて 2018 年にアルベルゴディフーズに登録した。観光客は 13 万から施設完成後は 20 万人に増えたと聞いている。

こういった実績もあります。お金の話とか所有者の話問題は別にありますが、こういった事例もあるという提案になります。

会長

なかなか難しい所有権の問題、建物中身の問題もあるし、私も空き家があるがとても人に貸せるようなものではない。永遠のテーマで考えていくことになる。その都度対応するしかない。

ST委員

これはランドデザインの中の一つである。岩村町ではランドデザインに沿ったまちづくりをやっていこうというもの。それが何番目に来るかというだけで、頭に入れておくことが必要です。

先人顕彰施設は、先ほどの説明で一斎記念館ということであったので、みんなで作ったランドデザインに沿った形になっている。

会長

これは何かやろうと思ったらデザインを紐解き参考にして進めていくということになります岩村町の観光指針として活用することになります。

報告事項に移ります。

恵那南中学校統合について

事務局

前回報告させていただきその後も説明会等が行われています。

令和5年1月23日恵那南地区中学校統合開校に向けての保護者説明会（岩村町）参加者は保護者70名程度 保護者以外の出席もありました。教育委員会からは教育長、副教育長、学校再編対策室長等が出席しております。

令和5年2月1日恵那南地区中学校開校に向けての地域説明会について（面談）参加者は恵南自治区会長、各振興事務所長、教育長、事務局長、室長で行われました。

令和5年2月6日学校統合に係る地域との打ち合わせ（岩村町）参加者は地域自治区役員会、PTA小中会長で行われました。

令和5年2月17日岩邑小学校保護者説明会（参加日実施）が開催される予定です。

令和5年2月27日恵南小学校PTA会長会議が開催される予定です。参加者は令和4年度5年度会長、教育委員会、岩村振興事務所も参加させていただく予定です。

令和5年3月15日中学校統合地域説明会が開催される予定です。参加者は地域住民、教育委員会となります。

会長

3月15日には地域説明会が開催されますので、役員皆さんの出席をお願いします。この件に関しては、服部市議が話を聞かれていますのでお話しください。

服部市議

アンケートが行われており、集計ができたので議員に聞いてほしいと言われ、昨日話を聞きました。3人ほど見えましたが、統合に関して反対ということで活動しているわけで

はなく、よく話を聴いてほしいといった趣旨でした。

その方々は1月23日にここで行われた保護者説明会で反対意見があった中の一部の人でした。説明会終了後、反対意見を出し合った同士ではじめて話をしたそうです。

やっぱり説明が足りていないという事から、署名活動とかアンケートもやっ払いこうという事になったそうです。中心になって動いているメンバーは6人らしいです。

その中の3人が昨日寄られたという事です。

話を聞く限り、純粹になぜ1校なの？昨年の3月から6月にかけて事前に保護者説明会があり、その時にもなぜ1校なのと質問したが、明確な回答もなく、教育委員会は誠実な対応をしてくれないということが感情的なものになっているようです。

ちゃんと話を聞きたいということであったので、本日午前中教育委員会へ行って教育長も見えたので事情を説明してきました。

来週もう1回小学校のPTAの方へ教育長にも来ていただいて納得いくまでの説明をしていただくことになりました。その場に私も参加する予定です。

この説明により修まってくるのではないかと思います。

上矢作の話も聞いております。岩村も17日参加日にあったと説明がありましたが、18日に上矢作にあったそうですが、けっこうの質問があったそうです。

事業参加終了後に1時間程は話したそうですが、それでも足りず日を改めて行うことになったそうです。

教育委員会も保護者に対する説明が足りないと感じているようです。保護者からの要望があれば出掛け行くという事のようにです。

岩村町にも同様に実施し、何回かやっ払いけばご理解いただけるのではないかと感じているようです。

今後も引き続きできることがあれば対応していきたいと思っております。

会長

保護者が納得するまで説明することが大事だと思いますので、そのあたりを教育委員会にも伝えていただきたいと思います。

旧給食センター及び旧教員住宅の活用について

事務局

資料をご覧ください。この払下げについては市からの補助金をうけて行うことになりましたが、地域が認めた団体及びその活動とあります。

旧教員住宅については、観光協会からの要望があり今から説明いただきますので宜しくお願いいたします。

W委員

提案させていただきます。

岩村町では、閉店する商も多く、空き家と空き店舗ばかりの町並みは来される観光客ら見て決して魅力あるものではありません。

岩村生れ育ったこの素晴らしい環境とロケーションは「あたりまえ」となってしまう、その重要さを忘れかけてしまっています。

観光協会では情報発信に力が及んでいないため、この素晴らしい土地・素材、人々など情報をうまく発信できていなのが現状です。

そこで、岩村に関する情報を国内・世界発信してもらう岩村に関する情報を国内・世界発信してもらうために、発信力のある方々にワーキングスペーとして「仕事をしながら暮す」という場の提供をしたいと考えます。

発信した情報を見聞きした方々が、岩村訪れ良さ知ってもらい、最終的に移住してもらう。これを行う手段として「大将陣教職員住宅」活用したいと思います。

ここで、豊田市足助町で行われた取組動画がありますのでご覧ください。

動画 はじまり apartment in 足助

イメージしていただけたのではないかと思います。

岩村を活性化させるためには観光客へのおもてなしが重要だと思います。しかし、このままだとどんどん人口も減少し、商店が減っていくと町自体の賑わいが薄れてしまいます。

まちづくりに力になっていただけるクリエイターなどを応募し、面接も行っていくしますので、是非賛同いただきますよう宜しくお願いします。

会長

ありがとうございました。観光協会の渡曾さんから説明いただきました。

この活動を行うには地域協議会のお墨付きが必要となります。

皆さんご理解いただけますでしょうか。

委員

異議なし

事務局

最終的には、利活用内容について教員委員会に説明し承認を得る必要があります。

本日ご承認いただきましたので、教育委員会との協議を進めてまいりますのでご承知おきの程宜しくお願いします。

令和5年度 まちづくり懇談会の開催について

事務局

令和5年度は必要に応じて地域からの要望を予算付けするため、5月から7月に懇談会を開催することになりましたので、宜しくお願いいたします。

恵那市消防団新入団員確保についてのお願いについて

事務局

今年度においても何回か説明させていただきましたが、消防署からの再度の依頼がありましたので、報告事項とさせていただきました。

ご近所、お知り合い等に消防団に加入されていない若い方がありましたら、ご紹介いただきますよう宜しくお願いします。

恵那市の出生数等の状況について

事務局

前回に引き続き、出生数について説明させていただきます。今年度は16名になりそうです。昨年と比較して大幅な減となりました。この年の子どもは恵南で31名となり、1クラスとなってしまいます。

その他

事務局

恵那市ではSDGsのシンボルマークを募集しております。是非腕に自信のある方は応募いただければと思います。

以上21時40分終了